

6-2 アドレナリン自己注射薬（エピペン）

エピペンは一時的な緊急補助治療薬なので、万が一エピペンを使用した場合、速やかに医療機関を受診しなければなりません。

また、エピペンは以下の保管方法が適切であり、保護者の理解を求めることも重要です。

【エピペンの保管方法】

- 光で分解しやすいため、携帯用ケースに収められた状態で保管し、使用するまで取り出すべきではない。
- 15～30℃で保管することが望ましい。なお、低温での保管は故障の原因となるため避ける。

エピペンを使用せず、学校生活を送れると良いのですが、日頃からエピペン練習用トレーナーを使用し、緊急時に適切な対応を行えるようにしましょう。

【エピペン®の使い方 —アナフィラキシーがあらわれたら—】

STEP 1 準備

携帯用ケースのカバーキャップを指で開け、エピペンを取り出します。オレンジ色のニードル（針）カバーを下に向けて、エピペンのまん中を利き手でしっかりと握り、もう片方の手で青色の安全キャップを外し、ロックを解除します。



STEP 2 注射

エピペンを太ももの前外側に垂直になるようにし、オレンジ色のニードル（針）カバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付けます。太ももに押し付けたまま数秒待ちます。エピペンを太ももから抜き取ります。



STEP 3 確認

注射後、オレンジ色のニードル（針）カバーが伸びているかどうかを確認します。ニードル（針）カバーが伸びていれば注射は完了です（針はニードルカバー内にあります）。



STEP 4 片付け

使用済みのエピペンは、オレンジ色のニードル（針）カバー側から携帯用ケースに戻します。



★誤注射を避けるための正しい持ち方

- オレンジ色のニードル（針）カバーの先端に指などを押し当てると、針が出て危険です。絶対に行わないでください。
- 危険ですので絶対に分解しないでください。
- もしも、誤ったところにエピペン®を使用してしまったら、直ちに最寄りの医療機関を受診してください。



（引用「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」公財）日本学校保健会）